

.....

2018 年のサッカーワールドカップロシア大会決勝トーナメントで、日本は初戦のベルギー戦で負けた（資料 1）にもかかわらず、多くのマスコミや国民の間では「善戦」との評価がなされている。また、オリンピックは国の優劣を競う場ではないが、国・地域別のメダル獲得数を見ると、日本は 2016 年のリオデジャネイロオリンピックで 41 個のメダルを、2018 年の平昌オリンピックで 13 個のメダルを獲得し、どちらも過去最多を更新した（資料 2・3）。なお、資料 4 は資料 1～3 に登場する国の各国人口である（ただし、イングランドはなし）。

これに関連し、以下の問いに答えなさい。

問 1. 特にサッカーワールドカップや冬季オリンピックで好成績を残す国の中には、インフラ（産業や社会生活の基盤）が充実している先進国ではない国や、小国も多数入っている（例えば後者について、日本の人口は約 1 億 2700 万人に対して、ベルギーは日本の 10 分の 1 以下の約 1100 万人にすぎない）。そこで、①2016 年のリオデジャネイロオリンピック、②2018 年の平昌オリンピック、③2018 年のサッカーワールドカップロシア大会それぞれについて、おおむねどのような地理的・経済的・文化的傾向の国が成績上位国になっているか、考察しなさい。

問 2. 日本は相対的に国民一人ひとりの生活が豊かで、インフラも充実している先進国であり、人口も約 1 億 2700 万人もある一方、人口が 2000 万人に満たないにもかかわらずスポーツで好成績を残す国がある。これらの国の取組を参考にしていけば、日本はこれだけの人口があるのだから、サッカーワールドカップでさらに成績を上げ、オリンピックでさらにメダル獲得数を増やせる可能性がある。そこで、どのような要因から小国でもスポーツが強いと考えられるか、今後の日本にはどのような対策が必要と思われるか、考察しなさい。

この画像は、著作権の関係により掲載できません。

<資料 2>2016 年リオデジャネイロオリンピック 国・地域別メダル獲得数（上位 12 か国）

順位	国・地域	金	銀	銅	合計
1	アメリカ	46	37	38	121
2	イギリス	27	23	17	67
3	中国	26	18	26	70
4	ロシア	19	18	19	56
5	ドイツ	17	10	15	42
6	日本	12	8	21	41
7	フランス	10	18	14	42
8	韓国	9	3	9	21
9	イタリア	8	12	8	28
10	オーストラリア	8	11	10	29
11	オランダ	8	7	4	19
12	ハンガリー	8	3	4	15

<資料 3>2018 年平昌オリンピック 国・地域別メダル獲得数（上位 12 か国）

順位	国・地域	金	銀	銅	合計
1	ノルウェー	14	14	11	39
2	ドイツ	14	10	7	31
3	カナダ	11	8	10	29
4	アメリカ	9	8	6	23
5	オランダ	8	6	6	20
6	スウェーデン	7	6	1	14
7	韓国	5	8	4	17
8	スイス	5	6	4	15
9	フランス	5	4	6	15
10	オーストリア	5	3	6	14
11	日本	4	5	4	13
12	イタリア	3	2	5	10

<資料 4>資料 1～3 に登場する国（ただし、イングランドはなし）について、2017 年の国連の資料を
 基に総務省統計局が 2018 年に公表した『世界の統計 2018』から、人口の多い国順で並べ
 た各国の 2016 年 7 月 1 日現在の推計人口（単位は 1,000 人）

1	中国	1,403,500
2	アメリカ	322,180
3	ブラジル	207,653
4	ロシア	143,965
5	メキシコ	127,540
6	日本	126,933
7	ドイツ	81,915
8	イギリス	65,789
9	フランス	64,721
10	イタリア	59,430
11	韓国	50,792
12	コロンビア	48,653
13	スペイン	46,348
14	アルゼンチン	43,847
15	カナダ	36,290
16	オーストラリア	24,126
17	オランダ	16,987
18	ベルギー	11,358
19	ポルトガル	10,372
20	スウェーデン	9,838
21	ハンガリー	9,753
22	オーストリア	8,712
23	スイス	8,402
24	デンマーク	5,712
25	ノルウェー	5,255
26	クロアチア	4,213
27	ウルグアイ	3,444

出典：総務省統計局ホームページ